

令和2年度 第2回介護保険運営協議会 会議録（概要）

1 日 時 令和3年2月1日（月）午後1時15分

2 場 所 三条市役所 2階 大会議室

3 出席状況

(1) 出席委員

田中 吉明会長、佐藤 栄会長職務代理者、山井 春子委員、安室 久恵委員
近藤 鉄也委員、眞保 京子委員、石附 克也委員、遠藤 聡委員、山崎治子委員、
折原 寛子委員、奥山 賢一委員、木戸 正史委員（12人）

(2) 欠席委員

小嶋 嘉代子委員、小林 弘美委員、野村 正人委員（3人）

(3) 事務局職員

福祉保健部 部長 近藤 晴美
高齢介護課 課長 土田 泰之、課長補佐 野水 裕晃、
企画調整係長 永井 純子、企画調整係主任 松平 清美、
高齢福祉係長 榎本 孝仁、高齢福祉係主事 渡辺 萌里、
介護認定係長 渡辺 淳子、介護保険係長 本多 龍子、
地域包括ケア総合推進センター主任 渡邊 晃代、
地域包括支援センター嵐北センター長 高井 久恵
地域包括支援センター嵐南センター長 佐藤 光美
地域包括支援センター東センター長 西丸 恵理子
地域包括支援センター下田管理者 佐藤 真奈美

(4) 傍聴

なし

4 議 事

(1) 協議事項

三条市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定について
（土田課長） 資料について説明

～意見、質疑～

（近藤委員） 生活支援コーディネーターとは、何をする人か。また、どんな人が担当するのか。

（事務局） 来年度から地域包括支援センターの各担当圏域に配置し、地域に向いて地域の支え合い体制づくりや介護を補完する人材の発掘を担う。各包括の中で人材を確保し、体制を強化していく予定。

（近藤委員） 自治会長がやっているイメージだったが、地域包括支援センターの職員が対応するということでよいか。

(事務局) そうである。

(木戸委員) 「フレイル」とは何か。

(事務局) 介護状態の手前の状態を指す。

(田中会長) 身体的にも肉体的にも虚弱な状況。肉体的なフレイル状態として簡単に表現すると、1回の青信号の間に横断歩道を渡り切れないような状態である。

(事務局) 介護予防の取組の中で、ここ数年頻繁に使われるようになった。あらゆる生活の場面で衰えが見られ、これが進行すると介護が必要な状態になるというものである。そのため、ここに至る前に、予防の手立てを講じ、要介護状態を食い止めなければならない。これまで取り組んでいた介護保険事業とも一体的な取り組みを進めていかなければならないと考えている。

(眞保委員) 92、93ページについて、介護付き有料老人ホームや広域型施設等の基盤整備計画が示され、令和3年度は1施設上がっているが、どの圏域で作る予定か。それともあくまで理想の段階か。

(事務局) 特定施設は介護度が無くても入れる施設であり、今後の高齢化に伴い必要と考える。実際に事業者に施設整備の意向があることも確認している。また、広域型施設については、特別養護老人ホームで7床追加することで考えている。

(安室委員) 令和3年度に計画している1施設は、確実に施設整備を実施するということでよいのか。

(事務局) 市としても必要性を認識しており、事業所の意向も確認できているため、確定ではないが、整備を進めていく予定である。

(安室委員) 特別養護老人ホームで定員追加を計画しているとのことだが、現在入所待ちをしている人はどの程度いるのか。

(事務局) 現在280人程度の方が入所待ちをしているが、複数の施設に申込をしている場合もあるため、1人当たり何施設に申し込んでいるかなどの実情は現在把握していない。しかし、入所待ちの実数の状況なるべく押さえるとともに、在宅や他の施設に入所しているなど、どこで待っているのかについても把握していきたい。

また、入所の順番については、申し込み順ではなく、各事業所が判定委員会を行う中で、入所希望者の身体状態を踏まえて検討している。

施設整備については、地域密着型施設として29人以下の特別養護老人ホームを計画している。8期、9期の中で施設整備を進めていき、待機者の解消に努めたい。

(佐藤委員) 80ページについて、認知症サポーター養成講座の受講者は何人いるのか。

(事務局) 事業開始から10年くらい経過し、延べ約8,000人である。

(佐藤委員) これからも増やしていくのか。

(事務局) これまでは講座の依頼を受けて出向いていくことが多かったが、それに加えて小中学校に啓発をするなどして、幅広い世代に啓発を行っていきたい。

(佐藤委員) 48ページについて、三条ひめさゆりネットについて、マイナンバーカードとは連携しているのか。別個のものか。

(事務局) 現在は独立したシステムとなっている。しかし、健康保険証とマイナンバーカードを連携しようとする国の動きが想定されるため、システムの構築拡大においても、国の動きを見ながら統一的なシステムにしていきたい。

(田中会長) 医師会としても受付時にマイナンバーカードを活用する動きがあるが、実際には未所持の方が多い。

全員異議なく承認

5 閉 会 午後1時55分